



共育 協創

長井市立豊田小学校
学校だより
令和7年3月17日 No.24号



令和7年度行事予定を HP
にアップしています

令和6年度 修了式

一人一人のよさや可能性を引き出し伸ばす

本日、令和6年度修了式を行いました。159名全員が各学年の課程を修了いたしました。

子どもたちと過ごしたこの1年。笑顔もあり、涙もありましたが、行事のたびに子どもたちの頑張りが私の胸を打ちました。日々の授業では、仲間と先生と真面目に勉強に取り組みました。天気の良い日には、大イチョウの木の下で元気に遊ぶ姿。困っている友だちがいると、必ず誰かが声をかけてくれる優しさ。豊田っ子のよさや頑張りが、教室に、校舎のあちらこちらに、校庭にあります。

修了式では、5年大木心愛さんが1年間の振り返りと新年度への意気込みを児童代表で発表しました。

仲間とともに

5年 大木 心愛

運動会。私は白組応援団になりました。最初は自信がなくて、上手く声が出せませんでした。振り付けも覚えられないこのままでいいのか不安になりました。活動の反省会の時に応援団担当の先生に自信がないことを相談しました。すると先生は、「去年も頑張っ乗り越えたでしょ。あなたならできるよ。」

と励ましてくださいました。先生だけでなく、組頭と応援団長がたくさん支えてくれました。先生や仲間を支えられて「もっと頑張らない」と思いました。最後の応援練習はとても気持ちが入りました。

そして、本番の朝。白組応援団の円陣の中。いつもの倍以上の声が出ていたような気がします。最後まで頑張ることができたこと、完全優勝できたことは、仲間の力があつたからです。一緒に頑張ってくれた仲間のお陰で、私は成長できました。

来年は6年生です。今年の6年生のように、いろいろなことに熱心に、諦めないで、仲間とともに全力で取り組みたいです。そして、今度は私が下学年を支えられる、そんな6年生になりたいです。

保護者のみなさまには、本校の教育活動にご理解と多大なるお力添えをいただきました。心より感謝申し上げます。お家の方からの励ましや応援は、いつもいつも子どもたちの背中を押してくれました。1年間、子どもたちはとてもよく頑張りました。お子様の一人一人の成長をぜひ誉めていただきたいと思います。

地域のみなさまにおかれましても、豊田小学校に温かなまなざしを絶えず注いでくださりありがとうございました。地域での体験活動や地域のみなさまとのつながりは子どもの成長には欠かせません。また、豊田地区のみなさまの豊田っ子への思いに触れるたびに、この豊田地区の温かさを感じてきました。物心両面にわたり、豊田小学校をお支え頂きましたことに、この場をお借りして御礼申し上げます。

豊田っ子が持つよさや可能性をもっともっと引き出し、伸ばしていけるよう、教職員一同努めてまいりました。至らない点多々あったことと思いますが、みなさまに支えられて無事に修了式を迎えることができました。ありがとうございました。

明日は、第78回卒業証書授与式です。159名の子どもたちと教職員全員の心を一つに、私たちが大好きな6年生の卒業の門出をお祝いします。



卒業式の写真は、後日HPにアップする予定です

☆豊田っ子のがんばり☆

長井市「ボランティア体験作文」コンクール

入選 4年 奥山 新太
6年 色摩 祐星

長井市読書感想文コンクール

図書館長賞 5年 大場 実織
入選 2年 横山 そよ佳

川をきれいにする児童図画コンクール

佳作 5年 佐藤 朱莉

ファミリーマートありがとうの手紙コンテスト2024

学校団体賞 長井市立豊田小学校

思いを行動に 行動を誰かのために

河井の里のみなさんへ届きますように 私たちの思い

ボランティア委員会 アルミ缶回収活動

13日(木)の朝の時間に、河井の里管理者の石井様をお招きして、今年度のアルミ缶回収での収益で河井の里のみなさまにレクリエーション用具を送らせていただきました。石井様からは、「利用者の皆さんは、楽しいといつもより手が高くあげられるようになったり、あと一歩足が前に出たりして元気になります。利用者のみなさんと楽しく使わせていただきます。」とお話をいただきました。「人の役に立ちたい」というボランティア委員のみなさんの思いが、全校生とご家庭の協力を得たアルミ缶回収という行動につながりました。そして今日、児童を代表して、佐藤唯翔ボランティア委員長、鈴木丸趣副委員長、6年生のボランティア委員の目黒聖那さん、シブリ雅さんで河井の里のみなさまに喜んでいただける品物をお渡しすることができました。

贈呈したあと、鈴木丸趣さんが「来年もアルミ缶回収をしますので、ご協力よろしくお願いします」と呼びかけました。こうして、子どもたちの「誰かを思う、誰かのために」という気持ちが受け継がれてきたんだなと歴史を感じた機会でした。



(9月の河井の里訪問時の様子)

河井の里石井様から、9月にボランティア委員会が訪問させていただいたことをとても喜んでくださったと聞きました。「いつでも河井の里に遊びに来てください」と子どもたちに語りかけてくださいました。早朝よりご来校いただき、ありがとうございました。

本号で、今年度の「共育 協創」は最終号となります。いつも文字数が多くなってしまい、読みづらいと反省しておりましたが、なかなか改善できないままになってしまったこと、心苦しく思っています。少しでも子どもたちの頑張りや学校の様子をお伝えてきていたら幸いに思います。1年間、豊田小だより「共育 協創」をお読みいただき、ありがとうございました。

